

企画展開催業務〔予算額 160,553千円〕 ※美術博物館及び地域文化広場企画展開催業務合算		社会文化部美術博物館 学芸係(28-5002)
財源内訳	財産収入 2,860千円、諸収入 51,770千円、一般財源 105,923千円	
支出内訳	10款5項7目 美術博物館費／◇美術博物館企画展開催業務:企画展資料調査報償金 210千円、費用弁償 247千円、特別旅費 1,261千円、消耗品費 110千円、通信運搬費 24千円、図録等販売手数料 226千円、入場券販売手数料 57千円、企画展開催委託料 125,274千円、写真原板製作委託料 427千円、複写機使用料 24千円 10款5項11目 地域文化広場費／◇地域文化広場企画展開催業務:講師等報償金 17千円、特別旅費 250千円、消耗品費 19千円、企画展開催委託料 32,407千円	

美術博物館	休館	7/1～8/20 NHK大河ドラマ特別展「どうする家康」 NHK 大河ドラマに合わせて開催する、家康の生涯をたどる展覧会です。 家康が決断を迫られた事件や、家康に影響を与えた人物に関する資料も出品予定です。	9/16～11/5 至高の紫 典雅の紅 王朝の色に挑む 植物染料を用いて日本の伝統色を再現する「染司よしおか」が復元した、古代の社寺の祭祀や『源氏物語』の装束など、現代に蘇った王朝の色彩を紹介します。	11/19～1/8 THE 禅ー三河武士と曹洞禅ー 三河の曹洞宗寺院に伝わる至宝を一堂に会し、禅文化の粋を紹介するとともに、寺勢の盛衰に深く関係した松平氏など三河の有力武士との関わりを紹介します。	1/27～3/17 レアリスムの視線ー戦後具象美術と抽象美術ー 本展では、レアリスムという視座から対の位置にいるように見える具象美術・抽象美術を紹介します。異なる芸術表現でどのように現実を捉え、形にしていたのかを概観していきます。
		4/22～7/17 はしもとみお木彫展 ーいきものたちの音ー まるで生きている動物が目の前にいるような彫刻を創り出し、幅広い層から支持を集める彫刻家はしもとみお氏が動物との出会いを音で演出する展覧会です。	7/22～9/3 あそべる 恐竜博 リアルな恐竜のロボットをはじめ、恐竜の知識を深めることができるコーナーや飼育員になって恐竜に餌をあげたり、スライダーなどのエア式の遊具で遊べる体験型の展覧会です。	9/9～11/26 樋口一成 木のおもちゃ展 愛知教育大学教授でおもちゃ作家の樋口一成氏が、重力によって動く造形をテーマとする大型立体作品を展示します。スロープや段差を利用した動きの不思議さや音を、時間を忘れて楽しめます。	12/2～3/10 不思議なトリック 3D アニマルワールド 動物、魚、昆虫などをテーマに 3D アートに描いた作品と一緒に写真を撮ることで、ご自身も絵の中の一部になれる親子でお楽しみいただける展覧会です。

その他の展覧会 おかざき世界子ども美術博物館

- ・ 3/16～3/31 第35回リトルアーティスト展
- ・ 常設展「子どもたちのアールブリュット 2023」

※都合により展覧会の内容及び会期を変更する場合があります。

地域文化広場施設整備業務〔予算額 37,213千円〕

社会文化部

地域文化広場 (53-3511)

財源内訳 一般財源 37,213千円

支出内訳 10款5項11目 地域文化広場費／構造計算手数料 212千円、測量設計委託料 34,933千円、施設整備工事請負費 2,068千円

天候に左右されず子どもが屋外で遊べるよう、ふれあい広場に大屋根を設置するための測量・設計を行います。



現状



イメージ図



スポーツ施設整備業務〔予算額 119,515千円〕		社会文化部スポーツ振興課 スポーツ施設係(23-6531)
財源内訳	諸収入 20,000千円、市債 48,000千円、一般財源 51,515千円	
支出内訳	10項6項1目 社会体育費／スポーツ施設設計委託料 4,774千円、スポーツ施設整備工事請負費 114,741千円	

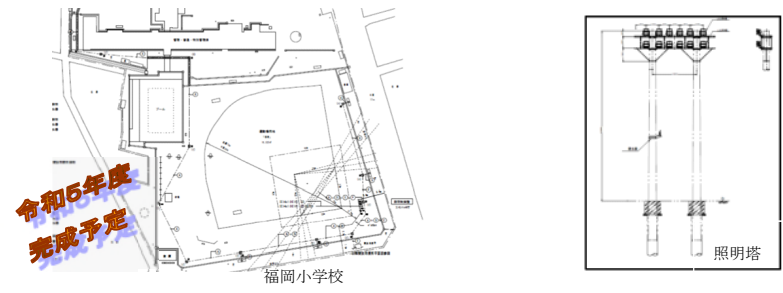
堤下公園駐車場拡幅設計

公園来園者及び近隣のマレットゴルフ場（予定）利用者の駐車場を拡幅します。



福岡小学校夜間照明新設工事

福岡中学校区は、区域内に運動場や運動広場が無いいため、スポーツ施設配置整備方針に基づき、福岡小学校に夜間照明設備を設置し地域のスポーツ振興を図ります。



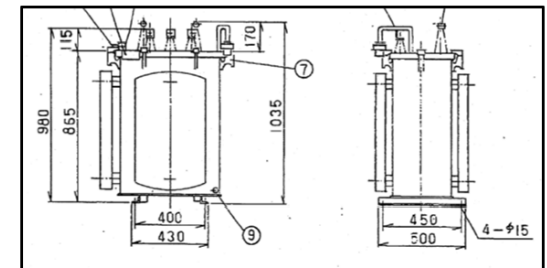
マレットゴルフ場新設工事

高齢者を中心に親しまれている生涯スポーツで、大門河川緑地に専用コースを36ホール新設します。



明神橋公園運動場及び日名公園運動場夜間照明用キュービクル内トランス取替工事

夜間照明トランス内に低濃度PCBが含有していることが成分調査で判明しているため取替工事を実施します。



トランス図

国際大会等誘致業務〔予算額 110,070千円〕		社会文化部スポーツ振興課 スポーツ事業推進係(23-7922)
財源内訳	諸収入 89,420千円、一般財源 20,650千円	
支出内訳	10款6項1目 社会体育費／費用弁償 48千円、普通旅費 34千円、特別旅費 265千円、国際スポーツ大会等推進委員会負担金 108,967千円、 愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会負担金 756千円	

事業目的

国際スポーツ大会等を誘致し、市民に世界トップレベルの技術を見る場を提供することにより、スポーツの裾野拡大やスポーツ意識高揚を図る。

また、地域スポーツコミッションとして、スポーツを活用した地域経済の活性化にも貢献する。

事業概要・スケジュール

- ・ 9月：モンゴルアーチェリーナショナルチームスポーツ交流キャンプ
- ・ 9月23日～10月8日：第19回アジア競技大会（中国・杭州）
- ・ 11月16日～19日：FORUM8 RallyJapan2023（世界ラリー選手権）



岡崎城跡整備業務〔予算額 58,626千円〕		教育委員会事務局社会教育課 岡崎城跡係(23-7270)
財源内訳	国庫支出金 18,684千円、繰入金 200千円、一般財源 39,742千円	
支出内訳	10款5項4目 文化財保護費／委員報酬 192千円、費用弁償 105千円、食糧費 3千円、植栽管理委託料 2,200千円、史跡調査委託料 24,124千円、史跡測量委託料 29,420千円、史跡保存修理委託料 1,914千円、普及啓発委託料 660千円、会場使用料 8千円	

岡崎市の象徴であり、市を代表する史跡である岡崎城跡について、「岡崎城跡整備基本計画」に基づき、歴史文化資産としての価値を高めるため、事業を進めていきます。

- ◇岡崎城跡整備委員会の開催
- ◇岡崎城跡坂谷曲輪発掘調査
- ◇石垣の測量（龍城堀石垣）・変位計測（8箇所）
- ◇石垣を毀損する樹木の伐採
- ◇石垣点検



石垣測量箇所（龍城堀石垣）



岡崎城跡坂谷曲輪発掘調査



石垣を毀損する樹木の伐採



石垣点検

情報教育推進業務〔予算額 189,764千円〕

教育委員会事務局教育政策課
GIGAスクール戦略係(23-7959)

財源内訳 国庫支出金 78,552千円、一般財源 111,212千円

支出内訳 10款4項1目 教育指導費／電子黒板整備委託料 169,425千円、機器賃借料 20,339千円

【事業概要】

「岡崎版 GIGA スクール構想」での1人1台タブレット環境を拡充し、教育 DX による授業改善や学び方改革を推進するために、電子黒板を全小学校上学年（4～6年生）の普通教室に整備します。電子黒板は、1人1台タブレット端末等の ICT 機器の中核に位置付くもので、教室と社会・世界とをつなぐ窓口の役割を果たします。ICT を活用した質の高い学びを提供することにより、岡崎の子供たちに Society5.0 を生き抜くための資質・能力を育成します。

＜令和5年度事業概要＞

市内全小学校上学年（4～6年生）の普通教室に電子黒板を整備

拡充

電子黒板の活用例



オンライン授業

家庭とつないで
学びの保障を
する



デジタル教科書

動画や音声で
理解が深まる



オンラインセミナー

市内全体で
最先端の学び
にふれる



プログラミング学習

試行錯誤で
論理的思考を
育成する



日々の授業の質的向上

+

岡崎版 GIGA スクール構想の拡充

+

社会・世界とつながる学び

職員給与費等〔予算額 学校指導課 56,059千円〕 少人数学級実施業務〔予算額 教育政策課 299千円、学校指導課 224千円〕		教育委員会事務局 教育政策課(23-6622) 学校指導課(23-6441)
財源内訳	繰入金 10,000千円、一般財源 46,582千円	
支出内訳	教育政策課 10款4項1目 教育指導費／◇少人数学級実施業務:普通旅費 90千円、印刷製本費 209千円 学校指導課 10款4項1目 教育指導費／◇職員給与費等:一般職給料 30,404千円、一般職手当 16,017千円、一般職共済費 9,638千円、 ◇少人数学級実施業務:健康診断手数料 86千円、任期付教員採用試験実施委託料 138千円	

令和5年度の小学1年生から、市独自で32人学級を実施する。これに伴い、学級増により不足する教員を補うため教員採用選考試験を実施し、3年間の任期で採用、各小学校に配置する。また、より質の高い教員を確保するため、近隣大学への訪問等積極的なリクルーティングを行う。

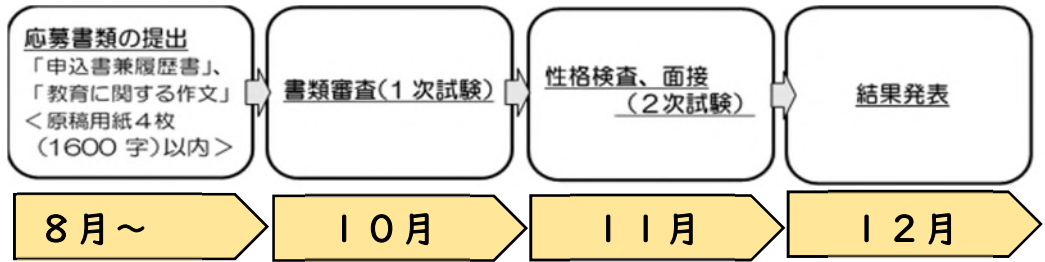
<岡崎市32人学級プロジェクト> 1学級の最大児童数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	不足する 教員数(予測)
R5	<u>32</u>	35	35	35	35	40	10
R6	<u>32</u>	<u>32</u>	35	35	35	35	17
R7	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	35	35	35	25
R8	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	35	35	33
R9	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	35	43
R10	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	50

※ R5の小5、R6の小6は愛知県の加配を予想した人数。
 ※ 令和7年度の時点で、国や県の動向を踏まえて、本プロジェクトについてその後の進め方の再検討を行う。

【学校指導課】

<令和6年度採用 岡崎市任期付教員採用選考試験のイメージ>



【教育政策課】

<教員募集活動(リクルーティング)のイメージ>



<大学訪問>
 愛知教育大学等県内大学
 と東海北陸エリアの大学
 を訪問予定

【採用PRポスター、パンフレットの制作】

<少人数学級の実現により期待される効果>

- ・ 個別最適な学びの促進
- ・ 児童の学力向上
- ・ いじめ、長期欠席などの問題の減少
- ・ 感染症に強い学習環境の実現
- ・ 教員の多忙化解消 等



小学校校舎改修業務 〔予算額 163,588千円、令和4年度3月補正に前倒した予算額 826,171千円〕 岡崎・大樹寺小学校校舎整備業務 〔令和4年度3月補正に前倒した予算額 158,492千円〕 (合計予算額 1,148,251千円)		教育委員会事務局施設課 整備係(23-6422)
財源内訳	市債 2,000千円、一般財源 161,588千円	
支出内訳	10款2項1目 学校管理費／◇小学校校舎改修業務:消耗品費 7,630千円、通信運搬費 7,302千円、通信設備架設料 1,737千円、 構造計算手数料 160千円、受変電設備切替手数料 315千円、実施設計委託料 21,285千円、PCB廃棄物処分委託料 221千円、 機器等移設委託料 3,954千円、仮設校舎賃借料 46,706千円、校舎等特別整備工事請負費 6,116千円、施設購入費 66,380千円、 庁用器具購入費 880千円、市産材調達管理基金繰出金 902千円	

老朽化している校舎の大規模改修工事を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

工 事

実 施 設 計

●岡崎小学校

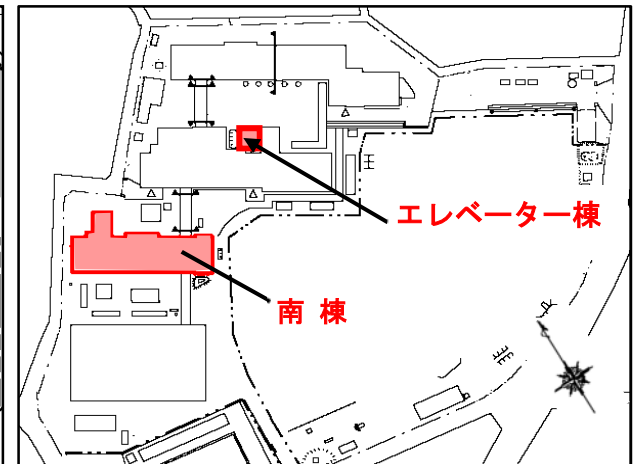
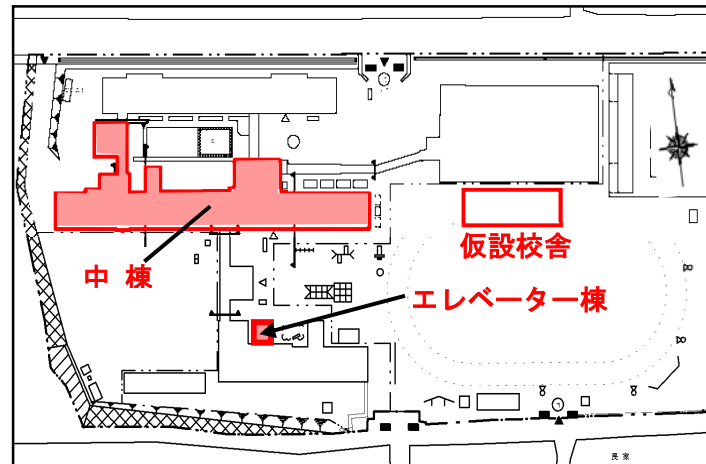
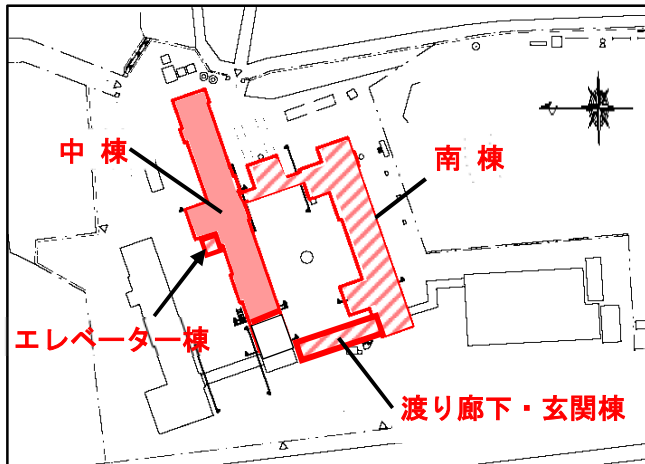
- ・令和3～5年度：南棟大規模改修工事
渡り廊下・玄関棟、
エレベーター棟増築工事
- ・令和5～6年度：中棟大規模改修工事

●大樹寺小学校

- ・令和4年度：実施設計
- ・令和5～6年度：中棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事

●美合小学校

- ・令和5年度：実施設計
- ・令和6～7年度：南棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事



【工事内容】外部改修（屋根、外壁）、内部改修（天井、床、壁、建具、トイレ）、設備の更新（受変電設備、照明、受水槽、消火設備）、
その他（内装木質化、段差解消）

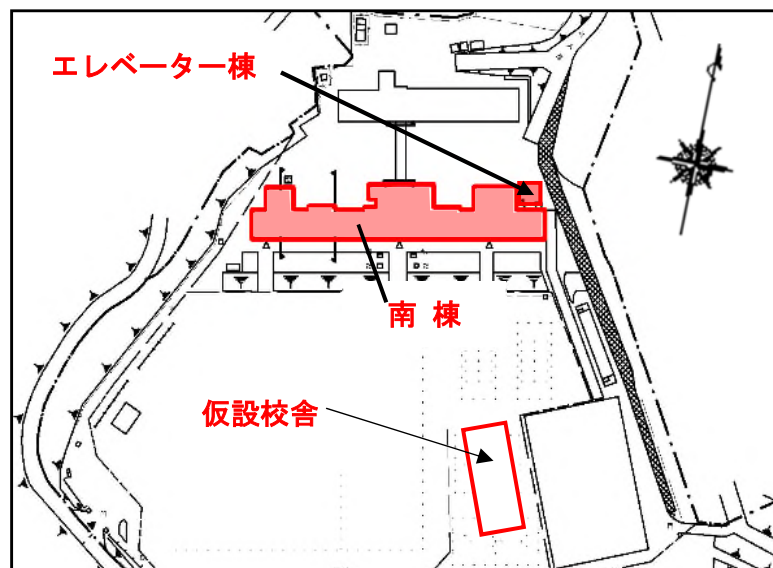
中学校校舎改修業務 〔予算額 180,360千円、令和4年度3月補正に前倒した予算額 223,773千円〕 甲山中学校校舎整備業務 〔令和4年度3月補正に前倒した予算額 5,802千円〕 (合計予算額 409,935千円)		教育委員会事務局施設課 整備係(23-6422)
財源内訳	市債 11,000千円、一般財源 169,360千円	
支出内訳	10款3項1目 学校管理費／◇中学校校舎改修業務:消耗品費 3,659千円、通信運搬費 4,312千円、通信設備架設料 550千円、構造計算手数料 160千円、実施設計委託料 33,253千円、機器等移設委託料 1,184千円、仮設校舎賃借料 79,603千円、校舎等特別整備工事請負費 22,985千円、施設購入費 32,804千円、庁用器具購入費 451千円、市産材調達管理基金繰出金 1,399千円	

老朽化している校舎の大規模改修工事を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

工 事

●甲山中学校

- ・令和4年度：実施設計
- ・令和5～6年度：南棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事

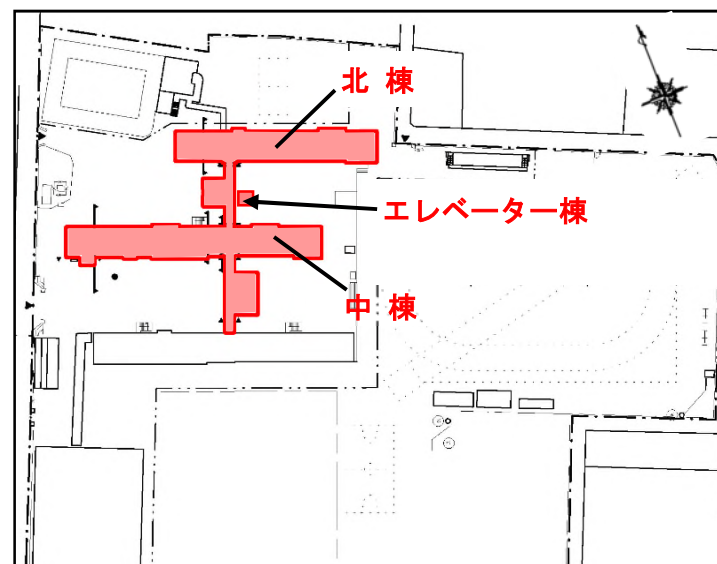


【工事内容】外部改修（屋根、外壁）、内部改修（天井、床、壁、建具、トイレ）、設備の更新（受変電設備、照明、受水槽、消火設備）、その他（内装木質化、段差解消）

実 施 設 計

●矢作中学校

- ・令和5年度：実施設計
- ・令和6～7年度：中棟・北棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事



拡充	体育行事活動等推進業務〔予算額 55,341千円〕	教育委員会事務局学校指導課 指導管理係(23-6640)
財源内訳	県支出金 9,842千円、一般財源 45,499千円	
支出内訳	10款4項3目 学校体育費／会計年度任用職員報酬(ショートパート) 21,224千円、会計年度任用職員共済費(ショートパート) 60千円、 中学校部活動指導報償金 2,400千円、費用弁償 1,547千円、庁用器具修繕料 77千円、小中学校各種体育大会開催委託料 28,128千円、 地域移行活動体制整備委託料 1,905千円	

小中学校児童生徒のスポーツ精神育成・技能向上のため、部活動振興を図り、技能的指導及び各種スポーツ大会を充実させる。特に、部活動地域移行の円滑な推進を図る。

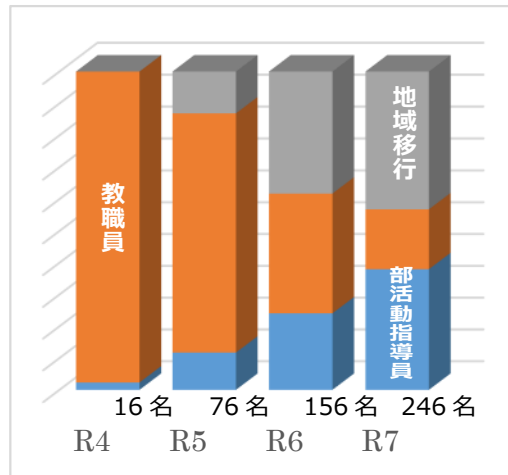
拡充 部活動指導員の増員

《休日の部活動に関わる指導者》

顧問(教職員)	536人
部活動指導員	16人
外部指導者	25人
合計	577人

全中学生の約80%が休日の部活動に参加している。それに対して577名の教職員が支えている。

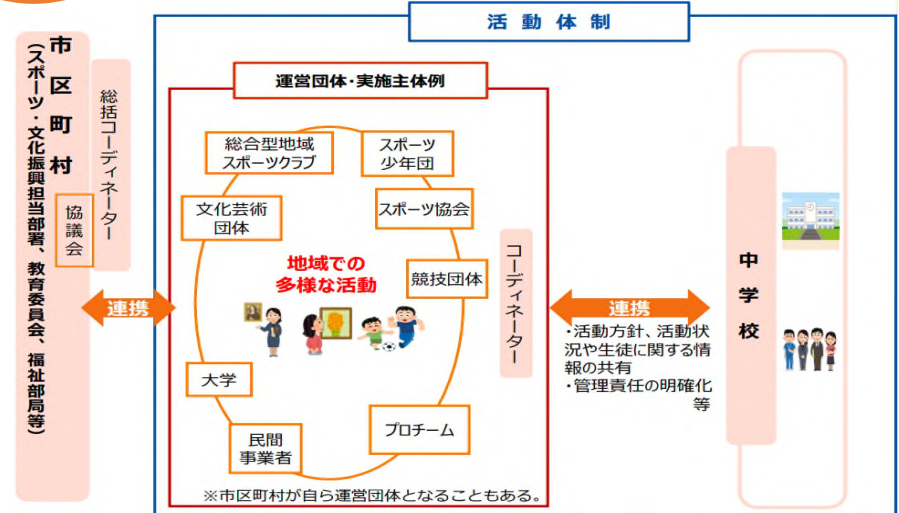
《部活動指導員の増員計画》



部活動指導員を60名増員 ⇒ 16名から76名に拡充

- ・部活動指導員は単独で指導することができるため、教員による部活動指導の負担を軽減することができる。
- ・多くの生徒に専門的な指導を行うことが可能となる。
- ・顧問とともに、練習試合や大会の引率・指導が可能である。

新規 地域移行活動体制整備委託料



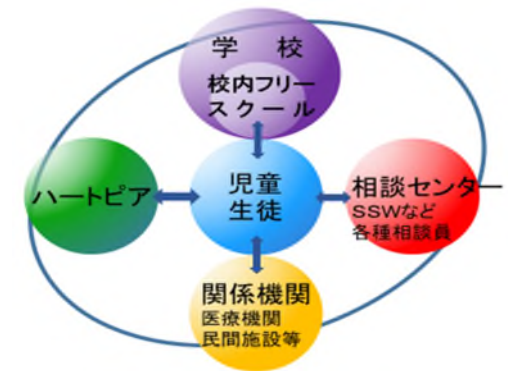
持続可能な運営に向けた体制整備や質の確保 ⇒ 1,905千円

- ・部活動地域移行コーディネーターを委嘱し、地域移行の実現への方策について検討や支援を行う。
- ・市内大会の外部審判員や会場使用料等、地域移行における活動の体制を整備する。

拡充	児童生徒健全育成推進業務 〔予算額 147,633千円〕	教育委員会事務局 教育相談センター(23-6772)
財源内訳	国庫支出金 11,810千円、諸収入 511千円、一般財源 135,312千円	
支出内訳	10款4項1目 教育指導費／会計年度任用職員報酬(ロングパート) 50,299千円、会計年度任用職員報酬(ショートパート) 47,293千円、 会計年度任用職員手当(ロングパート) 9,154千円、会計年度任用職員手当(ショートパート) 5,911千円、 会計年度任用職員共済費(ロングパート) 10,183千円、会計年度任用職員共済費(ショートパート) 4,455千円、講師等報償金 111千円、 事業協力者報償金 112千円、相談員報償金 899千円、費用弁償 4,744千円、消耗品費 1,063千円、いじめ防止対策推進委託料 1,675千円、 学級集団評価支援委託料 10,258千円、愛知県適応指導教室連絡協議会負担金 6千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 1,470千円	

児童生徒の健全育成のため、学校・家庭・地域・各関係機関が連携し、いじめ・長期欠席等に対する未然防止・早期発見・早期対応の実現を図ります。

- 社会的な自立を将来の目標に、市内公立中学校の校内フリースクールや岡崎市フリースクール「ハートピア竜美・上地」において長期欠席児童生徒へ支援・指導を行います。
- スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、登校支援員等による各種相談・支援体制の充実を図ります。



拡充 校内フリースクールの拡充

- 校内フリースクールを中学校 14 校から 20 校へ拡充**
- ⇒生徒の多様性への対応による長期欠席の未然防止
 - ⇒教室復帰だけでなく社会的な自立を目指した支援の充実
 - ⇒校内フリースクール利用生徒の自己肯定感や自尊感情の向上
 - ⇒個の学習状況に応じた指導や配慮の充実

拡充 スクールソーシャルワーカーの配置拡大

- スクールソーシャルワーカーを13人へ配置拡大**
- ロングパート:5人→8人、ショートパート:6人→5人**
 - ⇒複雑な家庭環境に起因した長期欠席の未然防止
 - ⇒児童虐待、ヤングケアラー等の課題への対応の充実
 - ⇒アセスメントやケース会議等、学校への具体的支援の強化・充実
 - ⇒令和7年度までに、原則、中学校区にSSW1人を配置予定

新規	中学校遠距離通学対策補助業務 〔予算額 2,200千円〕	教育委員会事務局教育政策課 総務政策係(23-6419)
財源内訳	一般財源 2,200千円	
支出内訳	10款3項2目 教育振興費／中学校遠距離通学対策費補助金 2,200千円	

市立中学校への通学に使用する電動アシスト自転車の購入費の一部を補助します。

【事業目的】

遠距離通学に使用する電動アシスト自転車の購入費を補助することにより、通学を援助し、負担の軽減と安全の確保を図ってまいります。

【対象者】

- 1 自宅から市立中学校までの片道の距離が6キロメートル以上となる生徒
- 2 単独通学距離が長く危険性が高い場合など特別な事情により校長が許可する生徒

【対象製品】

市立中学校への通学に使用する電動アシスト自転車

【補助額】

購入費の2分の1（限度額40,000円）

